

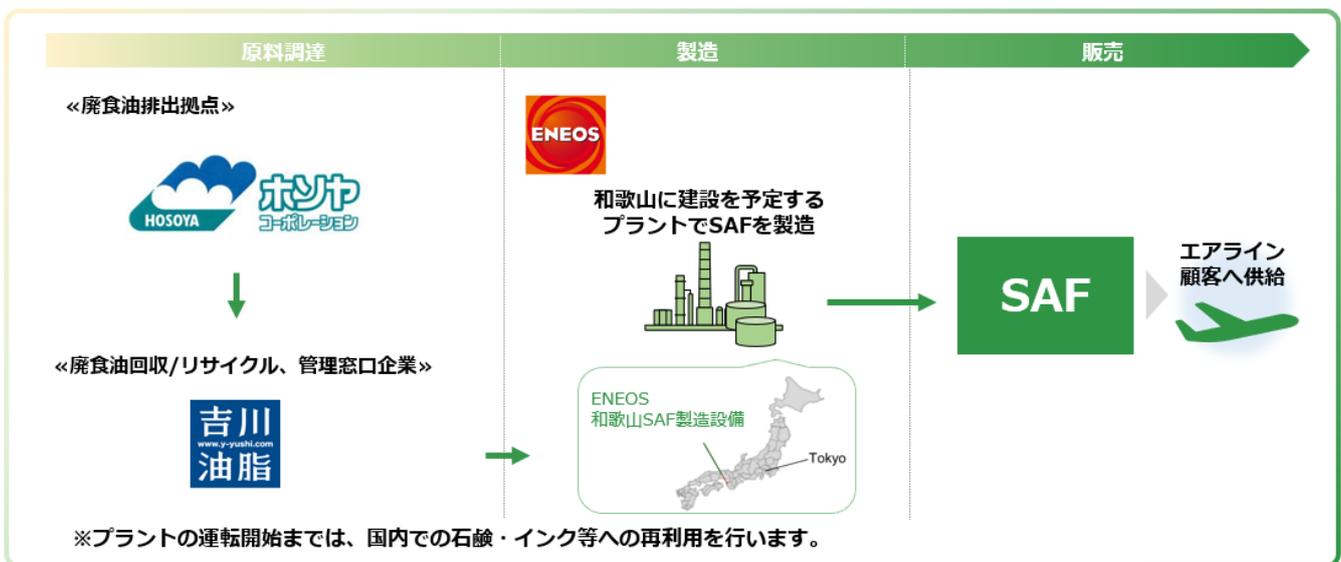
廃食油を持続可能な航空燃料の原料として活用する取り組み

当社グループ会社の株式会社ホソヤコーポレーション（代表取締役社長：重村 功 本社：千葉県佐倉市）は、ENEOS 株式会社（代表取締役：山口 敦治 本社：東京都千代田区 以下「ENEOS」）、株式会社吉川油脂（代表取締役：吉川 千福 本社：栃木県佐野市 以下「吉川油脂」）と廃食油を持続可能な航空燃料（以下、「SAF」※1）の原料として活用する取り組みに関する基本合意書を締結しましたのでお知らせします。

本取り組みでは、ホソヤコーポレーション本社佐倉工場から排出される廃食油を回収し、SAF へとリサイクルする仕組みを構築します。該当工場から排出される廃食油は、吉川油脂によって回収され、将来的には ENEOS が事業化を進める SAF の製造プラント（和歌山製造所：和歌山県有田市、能力：40 万キロリットル／年）で原料として使用する予定です。

当社は、ENEOS が進める SAF の原料調達・自社製造・販売まで一貫体制の構築に向けた取り組みに賛同し、国内で使用されていない廃食油の利活用への協力を通じて、脱炭素・循環型社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

※SAF…「持続可能な航空燃料 (Sustainable Aviation Fuel)」の略称。従来のジェット燃料が原油から精製されるのに対し、SAF は廃食油やサトウキビ、都市ごみ、廃プラスチックを用いて生産される。



<本件に関するお問合せ先>

株式会社ホソヤコーポレーション 生産管理本部 043 (484) 2181 (代)